

## 教えてください、あなたのことを。⑱

東京都狛江市 会田節子 さん（有機農産物普及・堆肥化推進協会）



会田さんは一昨年、くも膜下出血で倒れ、大きな手術をされたのですが、実に見事に回復されました。6月の「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」では「ぜひ一言スピーチを」とお願いし、そのお元気な声と姿に会場のみなさんもホッとひと安心。暖かい大きな拍手が沸き起こりました。これまで20年間、全国各地へ出向き、種まきしてこられた生ごみリサイクル運動です。これからも無理のない範囲で、ご活躍ください！

**Q** 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

**A** 69歳、四国の香川県の出身です。終戦の年に生を受けた私は、集団的自衛権を行使して海外で戦争する国づくりに暴走する政府には、強い憤りを感じています。

**Q** ごみ問題に関心を持つようになったのは…？

**A** 1993年、今から21年前、生ごみ堆肥化を進める市民運動を立ち上げるので専従者をやらしてもらえないか、と生協の研究者に声をかけられたのがきっかけ。

「生ごみを堆肥化する」って？…まずは自分で実践。生ごみを密閉容器に入れ、発酵促進材をふりかけ、フタをする。これを毎日繰り返し、1週間で止める。その後1週間寝かせ一次発酵のできあがり。次は土とよく混ぜ二次発酵。1ヵ月後、掘り返すと何とあの生ごみが無い！そして土はふかふか。微生物の力で生ごみは分解され、養分たっぷりの堆肥になっていたのです。この驚きと感動が私の活動の原点です。

**Q** 特筆すべき近況があれば、教えてください。

**A** 化学肥料・農薬を使用する農産物はビタミン、ミネラルが不足し、加工食品に含まれる多量の食品添加物とともに私たちの健康を阻害します。とびきりおいしい農産物が栽培できて、しかもごみの大幅減量につながる生ごみの堆肥化。生ごみは“燃やさない”“埋め立てない”に限ります。

国に対して、生ごみを燃やさず堆肥化する方針を持つこと、堆肥センター建設の財政的支援をすること、必要な法律や条件を整備することを要望します。生ごみ堆肥の品質の安定化と均一性を図ること、安価であること、農家に生ごみ堆肥の施用方法を徹底することなどが重要です。

20年間生ごみ堆肥化運動を進めてきたNPO有機農産物普及・堆肥化推進協会は昨年2013年3月末に解散しました。今後は一般団体の有機農産物普及・堆肥化推進協会として、生ごみ堆肥化、安全な食の確保、環境保全の活動を継続してまいります。

**Q** ごみかんに期待したいこと、あるいは提案したいことをお聞かせください。

**A** 新たな取り組みとしては「堆肥化アドバイザーの育成」「多様な堆肥化手法の手ほどき」などを、継続してほしいこととしては「自治体対象のダンボール箱による堆肥化アンケート」「市民ごみ大学セミナーの開催」などを。先月開催され、私も参加しましたが「生ごみリサイクル交流集会」は今年でもう6回目になるのですね！このような活動を大都会で進めるごみかんに拍手です。